

モバイル監視

ユーザーマニュアル

コンテンツ

1	ネットワーク構成	1
1.1	WLAN経由でデバイスにアクセスする	1
1.2	2G/3G/4G/5Gネットワーク経由でデバイスにアクセスする	1
2	アプリをインストールする.....	2
3	設定とアプリケーション	2
3.1	ログイン	2
3.2	ライブビュー.....	3
3.2.1	ライブビューの概要	3
3.2.2	AIビューモード	7
3.2.3	PTZ制御	8
3.2.4	お気に入りグループの追加	9
3.3	人物の追加	9
3.4	スマート検索	10
3.4.1	画像による検索	10
3.4.2	名前による検索	11
3.4.3	イベントによる検索	12
3.5	手動アラーム	13
3.6	音声アラーム	14
3.7	リモート再生.....	14
3.8	リモート設定.....	16
3.9	ローカル設定	16
3.10	サーバーリスト.....	18
3.11	ファイル管理.....	19
3.12	ブッシュ設定	20
3.13	通知.....	21
3.14	ヘルプ.....	22
3.15	概要.....	23

モバイル監視

SuperLivePlusは、新世代の独立系研究開発監視アプリです。

モバイルプラットフォームに基づいています。このアプリは以前のバージョンと比較してインターフェイスの設計、機能の統合、およびテクノロジーの最適化が強化されています。さらに当社の新世代プラットフォームNVRと互換性があります。

主な特徴：

- インターフェースの再設計により操作性が向上し見た目も良くなりました。
- P2P接続により接続がより速く、より安定します。
- H264/H265デコードをサポート
- ジェスチャーロックにより監視システムがより安全になります。
- プッシュ設定と通知をサポート
- スクリーンショットの共有、デバイスの共有、Dropbox の共有、ダウンロードアドレスの共有、電子メールの共有など、第3のアプリまたはプラットフォームへの共有機能は、いつでもどこでもお互いにアプローチするのに役立ちます
- デバイスのプレビュー、マルチチャンネル再生、便利なジェスチャー操作を多数搭載。
- PTZ モード、魚眼モード、AI モードのプレビューをサポート
- 画像、名前、イベントによる顔画像の検索をサポート
- フェイストラックと体温表示をサポート
- サーマルカメラ、顔認識および温度測定端末、AI カメラ、SMT、DVR、NVRなどを含むマルチデバイスアクセスをサポートします。

1 ネットワーク構成

1.1 WLAN経路でデバイスにアクセスする

- ワイヤレスルーター経由でデバイス(IPC/DVR/NVR/SMT/パネル)を接続します。次にルーターとデバイスの両方でDHCPを確認してIPアドレスを自動的に取得するか IPアドレスを手動で入力します。
- モバイルのWIFI機能を使用して無線ルーターに接続します。
- デバイスのIPアドレスとポートを追加するか デバイスのQRコードをスキャンして、モバイル監視クライアントにデバイスを追加します。

注：電話ネットワークとデバイスネットワークが LAN上の同じネットワークセグメントにあることを確認してください。

1.2 2G/3G/4G/5Gネットワーク経路でデバイスにアクセス

- デバイス (IPC/DVR/NVR/SMT/パネル) ネットワークを設定します。デバイスのネットワーク設定インターフェイスに移動してください。

PPPoeを使用してデバイスを接続する場合は、PPPoeを有効にして、ISPから受け取ったユーザー名とパスワードをネットワークインターフェイスに入力してください。

次に「適用」をタップします。動的ドメイン名を使用する場合は、デバイスがサポートする DNS サーバーにドメイン名を申請してください。

静的WAN IPアドレスをお持ちの場合は、ネットワーク設定インターフェイスに移動して、IP アドレス、ゲートウェイ、ポートを入力してください。

LAN IPアドレスを使用する場合は、ネットワーク設定インターフェイスに移動して IP アドレス、ゲートウェイ、ポートを入力し、ルーターまたは仮想サーバーの仮想サーバー設定で IPアドレスとポート番号を転送してください

(デバイスとルーターの両方でUPnP機能を有効にしている場合は、この手順をスキップできます)。

ポート転送設定はルーターやサーバーによって異なる場合があります。詳細については、ルーターのマニュアルを参照してください。

LAN IP アドレスとポートを転送した後、ルーターまたはサーバーのWAN IPアドレスを確認してください。

デバイスの WAN IPアドレスまたはドメイン名を追加するか デバイスのQRコードをスキャンして携帯電話監視クライアントにデバイスを追加します。

2 アプリをインストールする

この監視APPは、iPhone/iPadおよびAndroidスマートフォンから検索してインストールできます。

インストール手順は次のとおりです。

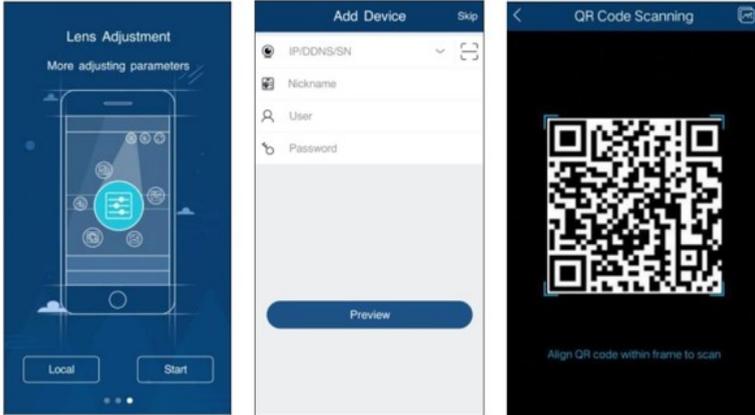
- ①「Google Play」(または「APP Store」)プログラムを起動します。
- ②「SuperLive Plus」を検索します。



- ③「SuperLive Plus」をタップしてソフトウェアをダウンロードします。
- ④ 指示に従ってソフトウェアをインストールします。

3 設定とアプリケーション

3.1 ログイン



QRコードをスキャンしてログインします

📱 をタップして携帯電話からデバイスをQRコードをスキャンするとシリアル番号とユーザーが自動的に取得されます。ニックネームとパスワードを手動で入力した後、「プレビュー」ボタンをタップしてライブインターフェースに移動します。

注: デバイスとモバイルクライアントが異なるネットワークセグメントにある場合、デバイスはQRコードをサポートNATを有効にします。

ドメイン名またはIPアドレスによるログイン

- ① IPアドレス/ドメイン名、ニックネーム、ユーザー、パスワードを入力します。
- ②「プレビュー」をタップしてライブインターフェースに移動します。

ドメイン名/IPアドレス: デバイスのWAN IPアドレス(またはドメイン名)とHTTPポート。

例: 210.21.183:89 または 123.dvrnames.com:89

ユーザーとパスワード: デバイスのログインパスワード。デフォルトのユーザー名はadmin、デフォルトのパスワードは123456です。

注: 同じネットワークセグメント内のデバイスを検索して追加するには、📁 ボタンをタップします。

3.2 ライブビュー

3.2.1 ライブビューの概要



チャンネル プレビューを閉じる: ウィンドウを削除ボタンまでドラッグして、チャンネルプレビューを閉じます。

チャンネルのプレビュー: ウィンドウを選択し、チャンネル番号をタップしてチャンネルをプレビューします。

デバイスのプレビュー: デバイス名を選択し、 をタップします。その後、以下のルールに従ってプレイします。

- 1) チャンネル数が 現在の画面表示モード以下の場合、デバイスのすべてのチャンネルが 現在の画面表示モードでプレビューされます。
- 2) チャンネル数が 現在の画面表示モードを超え、現在の画面表示モードが9を超える場合、
デバイスのチャンネルは現在の画面表示モードでプレビューされます。
- 3) チャンネル数が 現在の画面モードより大きく、現在の画面表示モードが9以下の場合、次のルールで再生されます。
 - a) チャンネル数が9以上の場合、デバイスの9チャンネルがプレビューされます。
 - b) チャンネル数が9未満の場合、デバイスのすべてのチャンネルがプレビューされます。

ライブインターフェイスのチャンネル表示ライト。

-  : 初期状態。
-  : センサーアラーム/センサーアラームによる録画
-  : 手動録音
-  : インテリジェンスアラームベースの録画
-  : モーションアラーム/モーションアラームベースの録画
-  : スケジュール録画

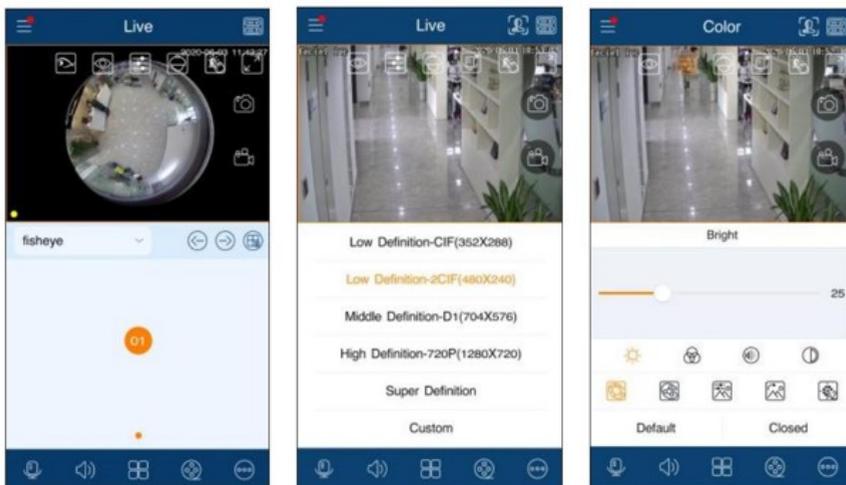
ライブインターフェイスのアイコン

-  : メインメニューボタン。タップすると、リモート設定、ローカル設定、サーバーリスト、ファイルなどに移動します。
-  : タップするとサーバーリストに移動します。
-  : タップするとAIビューモードに入ります。
-  : 無料チャンネル。
-  : チャンネル表示。
-  : タップすると前のチャンネルグループが再生されます。

-  : タップすると次のチャンネルグループが再生されます。
-  : すべてのプレビューを閉じます。
-  : 双方向トークを入/切します。
-  : オーディオを入/切します。
-  : タップして1/4/9/16 画面表示モードを選択します。「その他」をタップして、さらに多くの画面表示を選択するモード。

-  : タップするとリモート再生インターフェイスに移動します。
-  : タップする、お気に入りの追加、手動アラームなどのその他のメニューが表示されます。
-  : 静止画撮影。チャンネルを選択してタップしチャンネル画像をキャプチャします。
-  : ローカルレコードを入/切します。

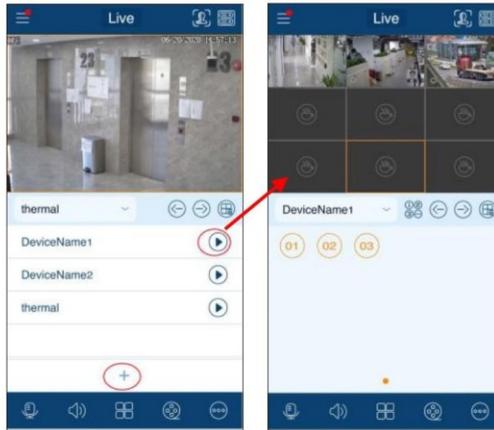
1つのチャンネルをダブルタップするとシングルチャンネル表示モードになります。この1つのチャンネルをタップすると次のアイコンが表示されます。



デバイス名(「thermal」など)をタップすると以下に示すようにデバイス名のリストが表示されます。

 をタップし、このデバイスのすべてのチャンネルを再生します。

「」ボタンをタップして新しいデバイスを追加します



: 魚眼モード。このアイコンは、このチャンネルが 魚眼カメラの場合にのみ表示されます。このアイコンをタップすると、以下に示すように魚眼表示モードに移動します。このインターフェイスでは、さまざまな表示モードを選択できます。



: タップして現在の画像の定義を選択します。



: タップすると画像を調整します。明るさ、ホワイトバランス、シャープネス、イメージミラー、ズームを設定できます。



:ズーム調整 (この機能は電動レンズを備えたカメラでのみ利用可能)。



: タップすると PTZモードに移行します。画面をスライドして PTZを制御できます。



: 全画面表示。

携帯電話の向きを変えて、ライブ画像を横向きモードで表示するが、全画面モードに切り替えます。

現在の画像をタップすると以下のアイコンが表示されます。



3.2.2 AIビューモード



をクリックして上に示すようにAIビューモードに入ります。

上記のインターフェースではタップしてキャプチャした写真、顔一致情報、体温、キャプチャ時間などを表示できます。

検出された温度が 事前に定義されたしきい値を超えると表示される温度値が 赤色に変わります。

キャプチャした写真をタップすると詳細情報が 表示されます。

詳細情報表示ウィンドウでは、類似度、マスク状態、体温、撮影時間、グループなどを確認できます。

注: 温度測定/マスク検出/顔認識をサポートしているカメラまたはデバイスのみが 対応する情報を表示できます。

3.2.3 PTZ 制御

追加されたデバイスは PTZ 機能をサポートしている必要があります。サポートされていない場合、PTZ モードを有効にすることはできません。



をタップすると次の画像が表示されます。

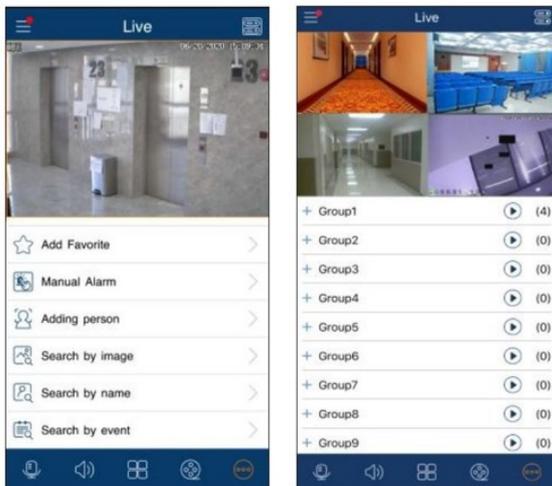


画像に表示されている矢印の方向に画像をスライドさせて PTZ を制御してください。画像をタップすると、PTZ は自動的に小さな赤い円に焦点を合わせます。次に3D機能を有効にすることができます。

(追加されたデバイスは3D機能をサポートしている必要があります。 そうでない場合、この機能は無効です)

3.2.4 お気に入りグループの追加

ライブインターフェースで、 をタップします。「お気に入りを追加」を選択してお気に入りグループを追加します。



グループ名の前にある「」をタップして、現在のチャンネルをお気に入りのグループに保存します。

 をタップして他の画面表示モードやチャンネルを選択します。次にこれらのチャンネルをお気に入りの場所に保存します。

 をクリックすることでグループのお気に入りのチャンネルをすぐに再生します。

3.3 人物の追加

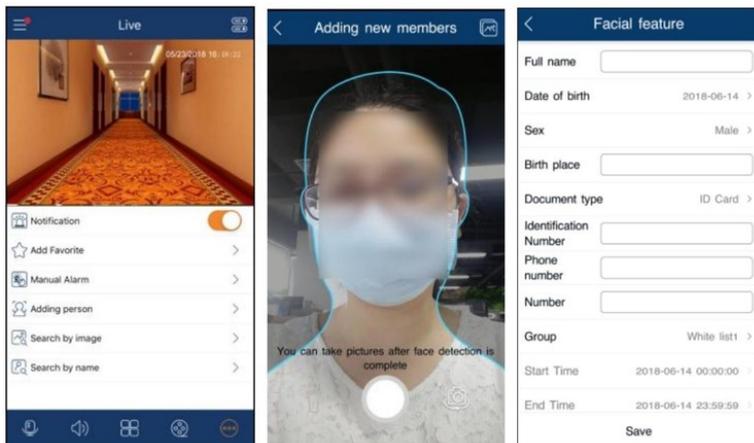
以下のアプリケーションは顔検索機能付き端末のみ対応しています。

1. 新しいメンバーを追加する

①  をタップし「人物を追加」を選択すると、次のインターフェースに移動します。

② 人物のスナップショットを撮るか、 をタップしてアルバム内の顔を選択します。

③ 本人に関する情報を入力、保存します。



4. スマート検索

1. 画像による検索

- ①「画像から検索」を選択します。
- ②人物の写真を撮るか  をタップしてアルバム内の顔を選択します。
- ③類似度、開始時刻、終了時刻を設定します。
- ④「検索開始」をタップすると結果が検索されます。

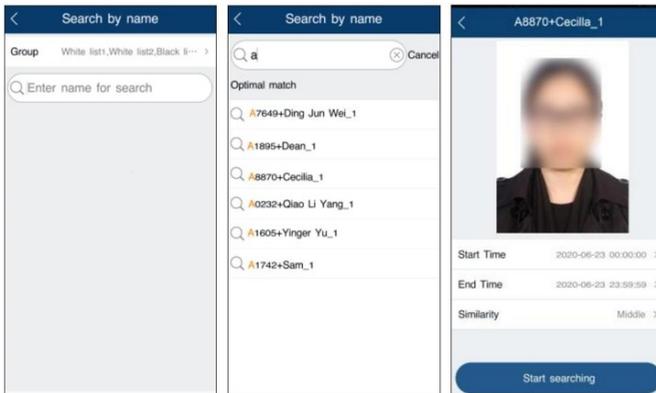


- ⑤ 検索結果をタップすると、スナップショット時刻、カメラ名、顔IDなどの詳細が表示されます。
- ⑥ 画像の中央にある  をタップしてレコードを再生します。

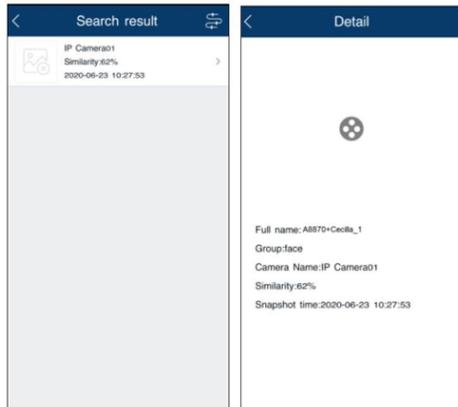


3.4.2 名前で検索する

- ①「名前で検索」を選択します。
- ②該当するグループを選択し、検索したいグループ名を入力します。
- ③検索された名前をクリックし顔を選択します。



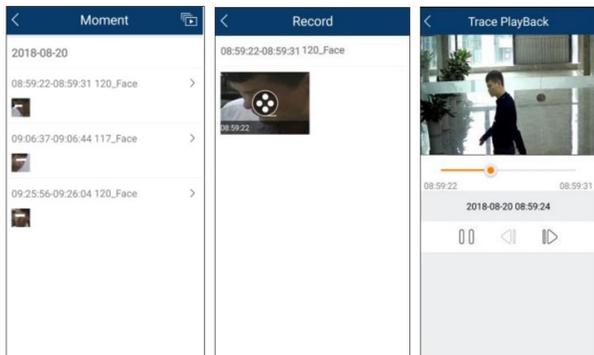
- ④類似度、開始時刻、終了時刻を設定します。
- ⑤「検索開始」をクリックすると、結果が検索されます。
- ⑥検索結果をクリックすると、スナップショット時刻、カメラ名などの詳細が表示されます。
- ⑦画像の中央にある  をタップしてレコードを再生します。



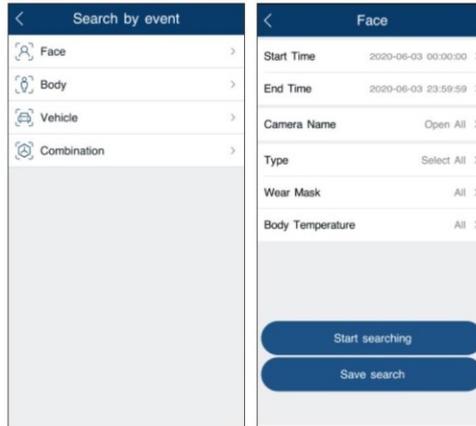
トレース再生:

 をタップし、さまざまな場所でターゲットを表示します。1つのファイルをクリックして、 をタップすると記録を再生できます。次のトレースが自動的に再生されることに注意してください。

 をタップするとすべてのトレースレコードを自動的に再生します。



3.4.3 イベントによる検索



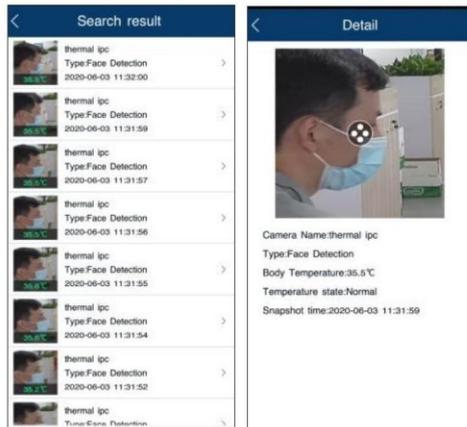
デバイスが異なれば、サポートされるイベントタイプも異なります。上記の写真は参考用です。

デバイスの実際のインターフェイスが優先されます。

APPは、顔検索、人体検索、車両検索、組み合わせ検索(デバイスに応じて)をサポートできます。ここでは顔検索を例に説明します。

① 開始時刻と終了時刻を設定し、希望のカメラ、イベントの種類、マスクの状態、体温の状態を選択します。

② 「検索開始」をタップすると、以下のような検索結果が表示されます。



体温、撮影時間、カメラ情報を確認できます。検索結果をタップして詳細情報を表示します。

3.5 手動アラーム

「手動アラーム」をタップすると、次のインターフェースに移動します。

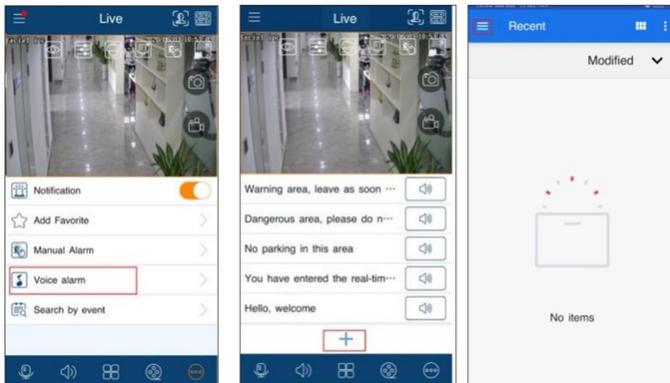
お使いのデバイスがアラーム出力機能をサポートしていない場合は、この手順をスキップしてください。



目的のアラーム出力を選択し、「」をタップしアラームを手動でトリガーします。

「」をタップし、アラーム出力を解除する。

3.6 音声アラーム



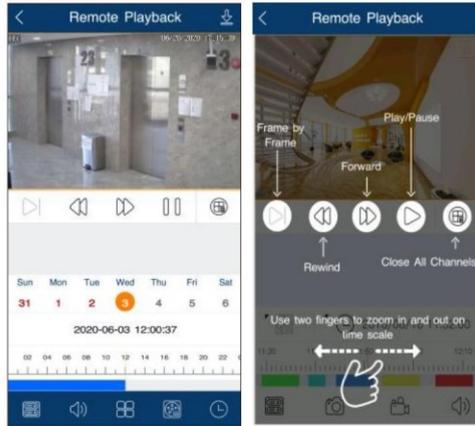
ライブビューインターフェースで、 をタップします。次に「音声アラーム」を選択して、音声アラームインターフェイスに入ります。

 をタップし、カメラはそれに応じて自動的に警告音声を鳴らします。「+」をタップすると音声追加インターフェイスに入ります。

 をタップし、ローカルオーディオを追加します。

3.7 リモート再生

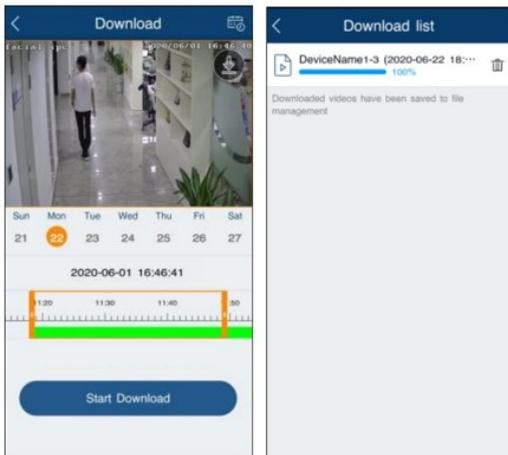
 をタップし、ライブインターフェイスのアイコンを使用して、デバイスのHDDに保存されているレコードをリモートで再生します。



上記のボタンを使用して再生を制御してください。次に、携帯電話の向きを変えてリモート再生表示を横向きモードにします。



-  : タップしてチャンネルを選択します。
-  : オーディオを入/切します。
-  : タップして画面表示モードを選択します。
-  : 録画モードを選択します。
-  : タップして日付を選択します。
-  : ローカルレコードを入/切します。
-  : タップして現在の画像の定義を選択します。
-  : 全画面モードを終了します。
-  : タップしてビデオをバックアップします。



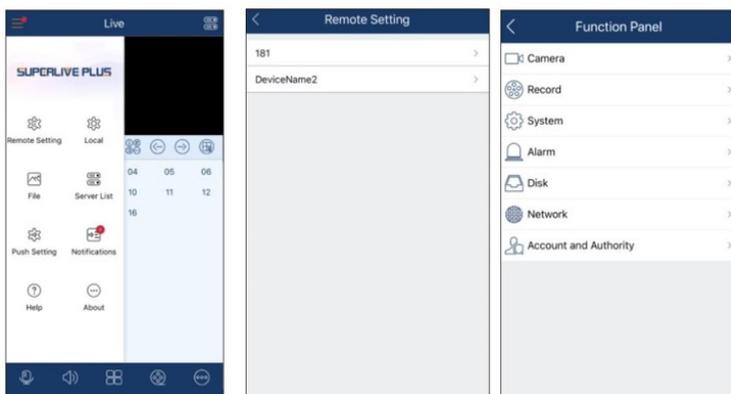
最大16個のバックアップタスクを作成できますが、各バックアップタスクは30分を超えることはできません。

3.8 リモート設定

ライブインターフェースで、 アイコンをタップします。これにより、次のメニュー設定項目が表示されます。

「リモート設定」を選択して、リモート設定インターフェイスに移動します。次にデバイス名をタップしてその機能パネルを表示します。

(デバイスによってリモート設定項目は異なります。以下の写真は参考用です)。



該当する項目の設定については、機器の取扱説明書を参照してください。

3.9 ローカル設定

「ローカル設定」を選択すると、次のインターフェイスに移動します。下にスライドするとすべての設定項目が表示されます。



新しい通知を受け取る: 必要に応じて有効または無効にしてください。

プレブッシュメッセージの再生時間 (秒): 必要に応じて時間を選択します。

通知: 「マナーモード」または「音と振動」を選択できます。

予約ディスク容量(MB): 50/100/200/500/1024MB はオプションです。

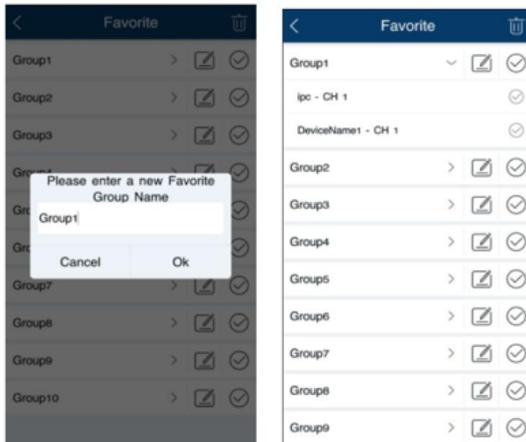
記録の上書き: 記録の上書きを有効/無効にします。

有効にするとシステムは古いレコードを自動的に削除し、スペースが完全に使用されている場合は上書きします。

スナップ数: スナップ数を設定します。

分割スナップ: 分割スナップを有効/無効にします。

お気に入り: お気に入りグループを収集した後、ここでお気に入りグループを設定します。



お気に入りのグループの名前を選択し、 アイコンをタップしてお気に入りグループの名前を変更します。

 アイコンをタップすると、グループのチャンネルが表示されます。

お気に入りのグループのチャンネルを選択し、 をタップしてすべてのチャンネルを削除します。

起動設定:本ソフトウェアを起動した後に、お気に入りのグループや再生デバイスを再生するか、最後のプレビューチャンネルを再生するかを設定します。

パスワード表示のセットアップ:クライアントのプライバシーを保護するために、パスワード表示を設定できます。

画面回転補正:必要に応じて有効にしてください。

OSD:ローカルOSDを有効または無効にできます。

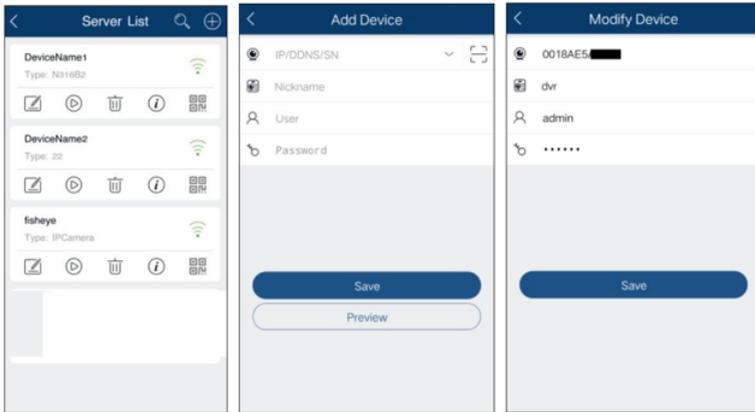
PTZ方向反転制御:必要に応じて有効にしてください。

PTZ動作を素早く操作する:必要に応じて有効にしてください。

自動接続:必要に応じて有効または無効にします。

3.10サーバーリスト

サーバーリストインターフェースでは、デバイスの情報を追加、変更、確認できます。



サーバーリストインターフェースに移動すると、追加されたデバイスがリストされます。



:このアイコンをタップするとライブビューインターフェースに戻ります。



:接続ステータス。緑色は接続が成功したことを意味します。灰色は接続失敗を意味します。



:タップするとデバイスが削除されます。



:タップしてデバイスを変更します。



:タップしてデバイス情報(デバイス名、ファームウェアのバージョンなど)を表示します。



:タップしてデバイスをプレビューします。



:タップするとQRコードが拡大されます。このデバイスを共有するには、QRコードを長押しします。



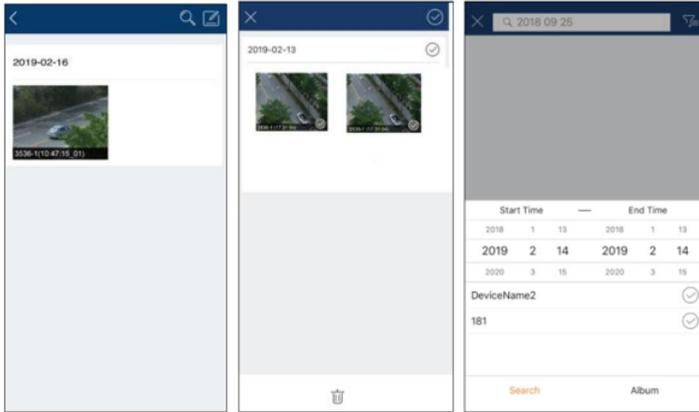
をタップしてデバイスを追加します。IPアドレス/ドメイン名/シリアル/QRコードを読み取ることでデバイスを追加できます。



:タップしてキーワードを入力し、目的のデバイスを検索します。

ファイル管理

以下に示すように、ファイルインターフェイスに移動します。



アイコンの説明



:ライブビューインターフェイスに戻ります。



:選択



:検索



:タップして特定の開始時刻と終了時刻を設定し、希望のデバイスを選択します。



をタップしてファイルを検索します。日付、時刻、デバイス名、チャンネルを入力してファイルを検索できます。



をタップし をタップしてファイルを選択します。



をタップして選択したファイルを削除します。

画像ビュー:

写真を1つ選択してタップすると、以下に示すようにこの写真が表示されます。



: 前のインターフェースに戻ります。



: タップすると画像が左に回転します。



: タップすると画像が右に回転します。

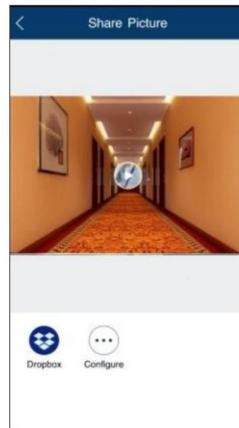
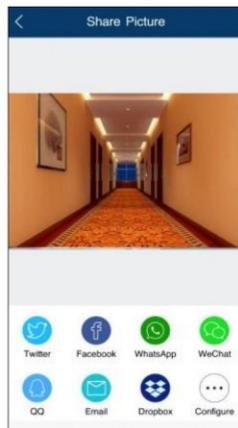


: タップすると画像が削除されます。



: タップすると、X(Twitter)、Facebookなどのさまざまなソーシャルメディアプラットフォームで写真を共有できます。さらにここから

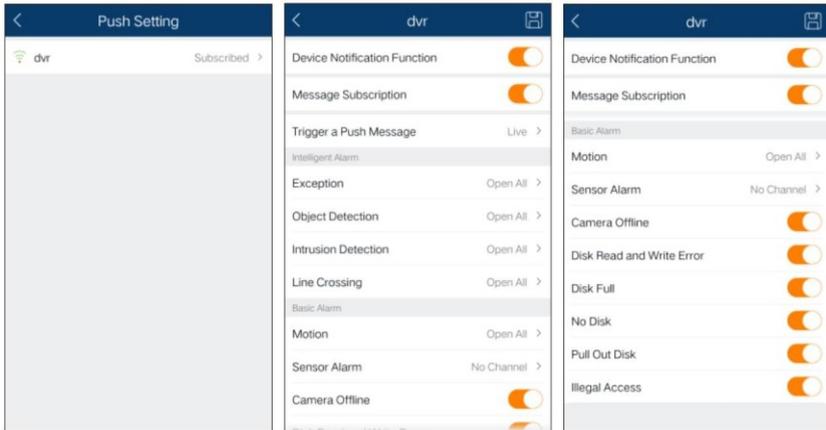
Dropboxでビデオを共有することもできます。



ファイル管理インターフェースでは、ローカル記録ファイルを検索できます。画像の中央にある再生ボタンをタップして、ローカル録画ファイルを再生します。

3.12 プッシュ設定

以下のようにオンラインデバイスの情報をプッシュできます。



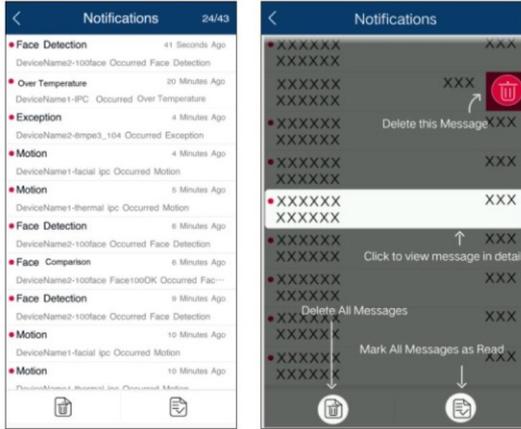
アラームイベントが発生すると、以下に示すようにアラーム情報がポップアップ表示されます。



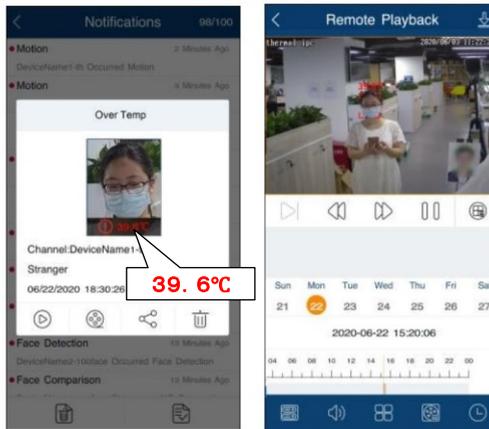
-  をタップして現在のビデオを表示します。
-  をクリックして記録を表示します。
-  をタップしてアラームを設定します。

3.13通知

プッシュ設定でデバイス通知機能を有効にすると関連情報を受信できるようになります。

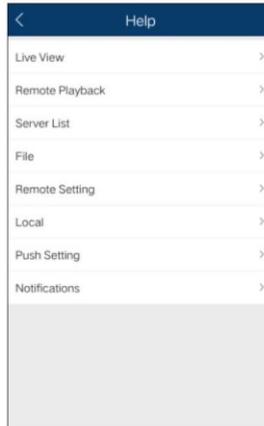


体温に関する詳細なアラーム情報を表示し、通知インターフェイスで再生を視聴できます。



3.14ヘルプ

ヘルプインターフェイスでは、ライブビュー、リモート再生、サーバーリスト、ファイル、リモート設定、ローカル設定などに関するヘルプドキュメントを参照できます。



3.15概要

このインターフェースでは、ソフトウェアのバージョン情報を確認できます。

「アプリを共有」を選択し、QRコードを長押ししてソフトウェアの情報を共有します。

「新しいバージョンを検出」をタップして新しいバージョンを見つけます。



「アプリを評価する」を選択してアプリにスコアを付けます。

バグレポート: アプリのクラッシュまたは障害が発生した場合、この項目を選択してアプリのテクニカルサポートにバグレポートを送信し、問題を迅速に解決できます。

バグレポートを送信するには:

- ① 「ユーザーエクスペリエンスプログラム」をタップしてプライバシーステートメントに同意します
- ② ログレポートをタップするとQRコードが表示されます。
- ③ このQRコードを保存し、APPのテクニカルサポートに送信してください。

注: [バグレポートを送信] ボタンをタップしてバグレポートを生成することもできます。

